

## 5 あきる野市の自殺対策に向けた課題と対策

### (1) 自殺対策に係る課題

自殺の現状を踏まえ、対応すべき課題は、以下のように取りまとめられます。

現状・特徴等	課題
<p>①これまでの自殺の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の自殺者は、年間15名前後で推移している。</li> <li>・自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)は都と同程度となっている。</li> <li>・自殺者数は、男性が、女性の2倍以上になっている。また、若年層から高齢層にかけて自殺者が発生している。</li> </ul>	<p>○幅広い世代にわたって自殺者がいることから、全世代への支援を基本に世代ごとのライフステージにも合わせた対策が必要になる。</p>
<p>②自殺の原因とされるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域における自殺の基礎資料」による自殺の原因は、健康問題、家庭問題、経済・生活問題、勤務問題、学校問題、男女問題など。</li> <li>・「地域自殺実態プロファイル」の重点パッケージにおいても「勤務・経営」「高齢者」「生活困窮者」があげられている。</li> </ul>	<p>○家庭問題、経済・生活問題、勤務問題などへのサポート体制が必要になる</p> <p>○心身の疲労や負担感等で追い込まれることを防ぐことが必要になる。</p> <p>○仕事と生活の調和を図ることが必要となる。</p>
<p>③自殺における高齢者との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域自殺実態プロファイル」の重点パッケージに「高齢者」が上がっている。(再掲)。</li> <li>・庁内の各種調査結果から高齢者世代においては健康や生活に不安を持つ方が多い。</li> </ul>	<p>○健康問題や介護問題、将来への不安、家族への負担感など高齢期において増加する問題や発生する問題の解決が必要となる。</p>
<p>④自殺における同居と独居の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同居と独居の場合の自殺者を比較すると同居が多くなっている。</li> </ul>	<p>○地域のネットワークを生かした普及啓発や、自殺予防に向けたゲートキーパーの養成など人材育成を行い、自殺対策は社会的な取り組みとして進めていくことが必要となる。</p>
<p>⑤若年層の自殺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の死亡原因の1位は自殺となっている。</li> <li>・学生若年層から自殺が現れる傾向がある。</li> </ul>	<p>○学校や家庭の問題、男女間の問題など、学生や社会人となる世代から自殺者が発生してくるため、若者が抱える問題の解決が必要となる。</p>

(2) 課題に基づく対策の展開に向けて

前項で示した課題から方向性と展開は、以下のように展開します。

